

11/7 学校図書館担当教職員研修講座を実施しました



映画「千と千尋の神隠し」の舞台は？台湾の九份？その根拠は確かですか？

▲講義「学校図書館の在り方」

中央大学人事部人事課 梅澤 貴典 先生

▲実践発表「学校図書館運営の工夫」

県立磯原郷英高等学校 堀 美智子 教諭



学校図書館によって生徒の人生が変わります！

▲実践発表「学校図書館運営の工夫」

県立水戸第二高等学校 勝山 万里子 主査

▲研究協議「学校図書館運営の工夫改善」

受講者の様子



11月7日(水)、学校図書館担当教職員研修講座を実施しました。講義「学校図書館の重要性」では、教育庁学校教育課 海老澤 恭弘指導主事から、学校図書館法、学校図書館ガイドライン等について、新学習指導要領実施に向けた学校図書館の重要性を説明していただきました。講義「学校図書館の在り方」では、中央大学人事部人事課担当副課長 梅澤 貴典先生から、「学校図書館から始めるアクティブ・ラーニング」と題して、海外の図書館紹介をはじめ、情報リテラシーの模擬授業体験等、具体的なお話をたくさんいただきました。実践発表・研究協議においては、県立磯原郷英高等学校 堀 美智子 教諭、県立水戸第二高等学校 勝山 万里子 主査から、具体的な事例を発表していただいた上で、各校の現状と課題について研究協議を行いました。研究協議の中では、学校の実態に応じて運営を工夫することや、環境整備、教員の意識改革の重要性、いかに発信力を高めていくかなど、明日からやれることをやっていこうという前向きな意見が出されました。

<受講者の感想より>

- 学校図書館がアクティブ・ラーニングのベースになれるように運営していこうと思います。情報の正確さを見極める能力を自分も身に付けて生徒に伝えたいと思います。
- ビブリオバトルや市立図書館と連携しての調べ学習など、様々な事例を知ることができたので、今後は是非本校でも実施してみたいと思います。
- 司書担当者の研修とは違った新鮮な研修でした。新聞の切り抜き、新刊のお知らせなど、一つでも本日の研修内容を取り入れていきたいと思っています。

読書センター、学習センター、情報センター、校内拠点として、できることから始めましょう。

